

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2022年3月15日

事業所名 ひなた園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	今年度を迎えるにあたり、少しでも部屋を広くするためにロッカーを撤去いたしました。
	②	職員の配置数は適切であるか	基準を見たした配置を続けていきます。皆様に安心して通って頂けるように、寄り添った支援を続けていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	改善点はあると感じています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	定期的に事業所会議を行い、モニタリングや園内の出来事の報告・共有をしています。個別支援計画の中間評価には、所属の職員が全員参加しました。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	一昨年の放デイの開所以降、毎年評価表のアンケートを実施し、改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	法人のホームページで公開しています。

⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現状、第三者による評価は頂いていません。	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	常勤職員が法人実施の研修に参加し、事業所会議の際に非常勤職員に内容を伝えています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別支援計画作成の際には利用者様毎の担当者を決めています。保護者様と相談・サービス利用計画の確認をしてから、原案の作成を行います。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用者登録カード・サポートシートという形で、現状把握に努めています。年度初めには、以前いただいた内容を確認してもらい、変更点等を伺いました。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	活動を公園・課題・レク・制作に分け、それぞれに担当者を設定しています。担当者の立てた計画を事業所会議で検討し、プログラムを作っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	毎週異なった活動に取り組んでいます。公園・課題・レク・制作をルーティーンにして、各活動に季節感のあるものを採用するよう意識しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	通常の日程と長期休暇期間は、開所時間を変更しています。合わせて、プログラムの内容も変えています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別支援計画は個々に合わせた複数の目標を設定しています。集団を活かし、個々を尊重する内容を意識しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	都合により、対面での打ち合わせは行っていません。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	特筆すべきことがあった場合は、その日のうちに声を掛け合い情報共有しています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎回記録をとり、特筆すべきことは日誌という形で共有用のファイルに書き出しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	法人内・外の相談支援事業所主催のものに参加しています。 内容は、個別支援計画に反映しています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	年度初めに所属職員でガイドラインの総則を確認しています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	利用者様毎に担当者を設定し、個々の情報の把握に努め、会議等への参加もしています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校主催の情報交換会等には、法人から代表者が参加しています。 法人内での情報共有にも努めています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアを必要とする方のご利用はありません。 服薬等が必要な場合は、依頼書を頂いています。

関係機関や保護者との連携
関係機関や保護者との連携

⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	法人内、児童発達支援センターとの情報共有をしています。
㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	利用対象が小学校2～4年生の為、該当しません。他学年対象の事業所との情報交換はしています。
㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	法人内の専門職の助言を受けています。児童発達支援センターでの支援に参加し、研修を受けています。
㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	感染症が終息した際には、児童館等におじゃましたいと考えています。
㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	今年度は現状参加しておりません。機会があれば、法人の代表者が参加の予定です。
㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	お迎えの時間に、お話をさせていただいています。
㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングは行っていません。経験や事例の紹介等、親身になってお話をさせていただくように努めています。
㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	ご見学・ご契約の方には丁寧に説明をする様に心掛けています。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	助言をする立場ではないと考えております。親身になってご相談に乗るように努め、関係を築くことを大切にしています。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者様の負担になると考え、父母の会等の実施は予定しておりません。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	解決に向けての体制は整えております。苦情を頂いた際には、真摯に対応させていただきます。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月に1度、お便りを発行しお届けしています。事業所の出来事と、次月の予定が掲載しております。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	情報の保管場所や処分方法について、常に注意しています。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	マカトンサイン・写真カード・絵カードを使用し視覚に訴える支援をしています。気付いた事は、当日の内に保護者にお伝えするように努めています。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所としての取り組みはありませんが、法人主催のイベントには地域の方にお越しいただいています。現在、感染症の影響を受け開催はありません。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応マニュアルは、園内に掲示しています。感染症への対応基準を作成し、共有させていただきました。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月1回を目安に、避難(防災)訓練を行っています。 年2回、非常災害の発生を想定した避難・消火・通報の訓練を行い、地域の消防署に報告しています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年1回、チェックシートを活用しての研修を行っています。 職員で啓発し合いながら、支援にあたっています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	基本は移動の際の安全確保のために行っています。 個別支援計画に身体拘束の可能性について記載しています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	年度初めに書面にて確認させていただきました。 今年度は研修も実施し、職員の理解を深めることが出来たと感じます。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事例集を作成し、事業所ミーティングを利用して共有しています。